

令和5年8月8日(火)

鳥羽市がテロ対策モデル事業所に指定されました

新たに鳥羽市が「みテます」キープ制度のモデル事業所に指定されたことを受け、鳥羽警察署長から市長に「みテます」キープ・クリスタルの伝達式が行われました。



「みテます」キープ制度とは、鳥羽警察署などで行う「テロ対策鳥羽・志摩地区パートナーシップ」により、官民一体でテロ対策に取り組む署管内 46 団体がモデル事業所として持ち回りで担当しています。市の任期は 8 月 1 日から半年間で、庁舎の玄関にのぼり旗を掲げての啓発や、署との合同訓練を予定しています。

「みテます」キープ制度は平成 28 年の伊勢志摩サミットを機に始まり、名称は「みんなの目 テロに まけない すトッパー」の頭文字からとっています。

中村市長は「地域のシンボリックな役割を授かったので、安全安心に寄与できるよう頑張りたい」と話しました。